

⑧ 小 菅 千保子 委員（公明党）

一 大災害に備える減災対策について

次の3点について、区長の所見を伺う。

- ① 今後発生が予想される南海トラフ巨大地震では、超高層建築物等の長周期地震動による被害が予測されており、その対策として、耐震性の強化やオフィス機器の固定などが必要とされている。

そこで、超高層建築物等の耐震化や防災訓練の実施に繋がるよう、区が作成している「集合住宅防災ハンドブック」を改訂するとともに、区内の超高層建築物等の管理者や居住者に対する啓発活動を強化すべきと考えるが、どうか。

- ② 災害時に、障害者や外国人などの災害弱者の避難生活を支援するため、支援内容を表示したビブスを避難所に配備してはどうか。

また、音声翻訳機の配備も必要と考えるが、どうか。

- ③ 乳児用液体ミルクと、アレルギー対応の米粉でできているクッキーを備蓄食糧に加えてはどうか。

二 がん対策への取り組みについて

次の3点について、伺う。

- ① 厚生労働省は、「がん対策加速化プラン」の中で、がんについて正しく知り、理解を深める「がん教育」を充実することで、早期発見・早期治療や、がん予防の啓発を進めることなどを盛り込んでいる。

今後、がん検診受診への意識を高めていくためにも、学校をはじめ、生涯学習の中でも、がん教育を実施していくべきと考えるかどうか、教育長の所見を伺う。

- ② がん患者が手術や抗がん剤治療などにより、様々な外見の變化が生じたときの精神的ショックは計り知れない。

そこで、抗がん剤治療中の患者が精神的に少しでも安定した状態で生活できるよう、医療用ウィッグや弾性ストッキングの助成制度を創設してはどうか、区長の所見を伺う。

- ③ 若い世代の女性に対して自己検診に役立つグローブを配布し、若年性乳がん患者を増やさない取組みを行うべきと考えるかどうか、区長の所見を伺う。

三 (仮称)発達相談支援センターの設置について

次の2点について、伺う。

- ① 年々、療育支援を必要とする幼児・児童・生徒が表面化している。福祉・教育・保健所が連携し、一人ひとりのライフステージに寄り添ったトータルサポートができる(仮称)発達相談支援センターの設置が必要と考えるかどうか、区長の所見を伺う。

- ② 教育支援館の機能を有効活用し、発達障害のある子供への、より一層充実した支援が必要と考えるかどうか、教育長の所見を伺う。

四 食ロス削減の取り組みについて

食ロス削減のために、子供たちの「もったいない精神」を喚起することや、学校給食の食べ残しを減らす取組みが必要と考えるかどうか、教育長の所見を伺う。